
月の灯

サトシ☆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月の灯

【Nコード】

N3880F

【作者名】

サトシ☆

【あらすじ】

ふと秋の夜空を見上げて書きました。

凍える様な寒空に…

人の心温める光がある…

夜空見上げてふと思う…

冷めきった冷たい心を溶かしてくれと…

冷たい心は中々温まらない…

心の真まで凍ったのかな…

いつからだろう…

作り笑顔しか出来ない自分…

一人で居ても孤独を感じなくなったのは…

私はおかしいのかな？

他人が怖い…

自分が怖い…

だからか…

自分の心を凍らせてしまったのは…

そんな冷えきった心を…

温めてくれる光がある…

私にとっては…

夜の太陽だ…

昼間の太陽も嫌いじゃない…

でも…

私は…

月明りが好きだ…

寒くなればなるほど…

輝かしく光るあの月が…

私を優しく包む…

暗闇に浮かぶ太陽のごとく…

凛々しくて…

手に届きそうで…

届かなくて…

秋風に吹かれながら…

私はただ見つめる…

自分も誰かの太陽になれるかなと…

何時しか凍えた心は…

月明りに照らされて…

少しづつ…

溶けて行く…

早く人間に戻りなよと…
私を優しく包み温める…

今日も私は夜空を眺める…

力一杯生きる為に…

自分に負けないように…

今日も月明りは私を照らす…

人々を照らす…

元気になれよと…

いつまでも見てるから大丈夫だよと…

そんな月に私は感謝する…

自分をいつも照らしてくれてありがとうと…

世界の人々を優しく照らしてくれてありがとうと…

いつまでも照らせていたい…

あの…

優しい月の灯に…

(後書き)

秋風の凜とした冷たさに打たれながら読んで頂ければ光栄です。感想をお待ちします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3880f/>

月の灯

2010年12月28日05時44分発行